

名削減!!

平成17年9月定例町議会で可決

19年4月 選挙から)~ ~

当別町が自立していくために

「議会ができること」「町民の貴重な意見」

から議会改革がはじまり、今も継続中です。

なぜ、削減は必要なのか！
行財政再構築プランで住民の声が明らかに！

当別町では、社会経済情勢がますます厳しさを増す中、隣接町村との任意合併協議会解散もあり、自立を目指す取り組みの必要性が高まり、分権型社会に対応した地域社会実現のため、住民と行政が協働し、効率的な行政サービスを再構築するた

め、当別町行財政再構築プランの策定にとりかかった。この中で、パブリックコメント(住民の意見)を集約した結果、議会に対しても、経費を削減するのなら、議員定数、議員報酬を先に削減すべきだとの意見があった。

議長が議員に呼びかけた！
私たち議員の足元から見直しませんか。

議長は当別町が再構築プランを策定しようとしている中で、議会もできることがあるはずと考

え、平成十六年十二月二日
日会派代表者会議を開催し、問題の重要性から町民の理解を得る様な意見集約を議会運営委員会に付託した。

即座に反応！

まずは平成十七年度も手当20%を減額する

議長の声かけに即座に

反応し、平成十六年十二

月二十四日の

議会運営委員

会では平成十

七年度手当20

%減額を決定

これにより五

百十万円の減

額をした。

意見の中に

は町長部局の

動向を見極め

てという意見

もあったが、

全体として、

やはり議会も



議会改革について先進地で研修中(美瑛町)

最大の関心事、議員定数削減議論開始！
減数という方向性が見えた！

平成十七年に入り、議

会改革の議論は、間髪い

れずに、一月二十四日、

二月四日、十七日、二十

八日と連続四回行い、議

員定数について、十二月

までには決め、二名から

七名という削減の方向性

議会運営委員会

| | | | |
|-----|--------------------------------------|------|-------|
| 委員長 | 高谷 茂 | 副委員長 | 小寺 和昭 |
| 委員 | 堀 梅治・後藤 正洋・島田 裕司 小野 広実・桐井 信征・市川 正 | | |

がみえた。

町民の意見を聞く機会手法がふえたことを現実的にとらえ、削減に賛成する意見が多かった。

また、議会は町政に対するチェック機能であるので、むやみに減らして、

議員自ら議員定数5 ～ 22名から17名へ(平成

議会運営委員会中間報告(3月議会)

議員定数について

平成17年12月定例町議会までに議員定数を上程出来るよう協議を進めているところである。削減については決定しているが、各委員の意見として削減幅については2～7名で協議中である。決定次第、12月をまたず報告をする。

議員報酬について

議員報酬については、報酬審議会の答申を尊重する。

各常任委員会の数について

議員定数と深くかかわりがあるが、住民要望に対応出来る活発な委員会活動を考慮し決定する。

行政の各種委員会等への議員の参画

- ・農業委員会委員学識経験者として現在3名(議員2名、民間人1名)を推薦しているところであるが、次回からは学識経験者として議員1名を推薦する決定をした。
- ・他の委員会への参画については、原則、広く町民の意見参画を諮るために議員は派遣しない。又、6月の委員会委員の構成替えまでに各派遣議員の任期も協議をつづける。

一般質問の方法

3月定例町議会より一般質問は対面式で実施することに決定をした。

5項目について今回中間報告をいたしました。委員の中には議会推薦の農業委員会委員の学識経験者は厳しい農業行政を取りまく情勢の中で1名の削減で良いのではという少数意見もあった。

議会運営委員会中間報告(9月議会)

議員定数について

定数削減問題について、昨年から8回に亘って、審議をかさねてきたところであるが、5名削減し、次回の統一地方選挙より、17名の定数とすべきとする意見が賛成多数をしめた。

尚、議員報酬を減額し、2名の削減にとどめるべきという意見もあった事を付け加える。

まだ残された案件もあり、引き続き慎重審議をつづける。

三月議会中間報告後、五月十日、六月三日、八月二十五日と議論を重ね、議員定数の二名から五名の幅での意見の集約に努めたが、集約とはならず、二名減、五名減の意見は

議員定数、削減が決定!!
二名減、五名減の意見はついに採決による判断!!
今後残された案件は引き続き協議する。

議会の機能を落とすのは反対だという意見もあった。そのまとめとして三月

議会で削減の方向を進める中間報告がおこなわれた。

尚、議会運営委員会での合計八回の議論では、議員が当別町の各種委員会に議員の立場で参画していたが、今後原則推薦しないことと決定した。

一般質問の対面方式は三月の議会から行っており、平成十七年度の議会運営委員会の道内所管事務調査では、美瑛町、栗山町の先進地において、一般質問における、対面方式、一問一答方式等を研修、一問一答方式につ

いては当議会に持ち帰り、検討している。尚、残された課題としては、今後議員定数が五名減になった場合に現在ある常任委員会の構成について、減数後の十七名の議員が最大限に能力を活かし、議会の機能が今までの以上、発揮されるよう、最良の選択がなされるよう引き続き議論を重ねる予定である。

| 会派名 | 代表者 | 所属議員名 |
|-------|--------|--|
| 緑風会 | 島田 裕司 | 竹田 和雄・前沢 昭治 高谷 茂・小野 広実 白木 和廣・神林 俊一 小早川 孝男・白杵 英男 |
| 公明クラブ | 桐井 信征 | 石川 和栄 清 流 後藤 正洋 |
| 日本共産党 | 堀 梅治 | 石川 和栄 清 流 後藤 正洋 |
| 民主の会 | 小寺 和昭 | 石川 和栄 清 流 後藤 正洋 |
| 政友会 | 田畑 富美男 | 石川 和栄 清 流 後藤 正洋 |
| 備考 | 山田 明美 | 議員～個人 |